

2021（令和3）年度

城西大学動物実験自己点検・評価報告書

2022（令和4）年6月17日

城西大学動物実験管理自己点検評価委員会

本報告書は、城西大学動物実験規定第 14 章（自己点検・評価・検証）第 55 条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2022（令和 4）年 6 月 17 日

作成者：和田政裕（委員長）、一色恭徳（副委員長）、石黒直哉（委員）、内田昌希（委員）、五十嵐庸（委員）、中谷祥恵（委員）

## I 規程及び体制等の整備状況

### 1) 機関内規程

#### [現状と点検・評価]

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」と表記する）に適合する機関内規程〔城西大学動物実験規程、2007（平成19）年10月12日制定・施行、2010（平成22）年6月23日一部改正、2017（平成29）年10月20日一部改正、2019（平成31）年4月1日一部改正〕が定められており、適正であると判断できる。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 2) 各種動物関連委員会

#### [現状と点検・評価]

基本指針に適合する「城西大学全学動物実験管理委員会」の下、「動物実験管理委員会」「動物実験委員会」「動物実験広報委員会」等、各種関連委員会が組織され、適正に運営されている。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 3) 動物実験の実施体制

#### [現状と点検・評価]

動物実験は城西大学動物実験規程第9章に従って実験計画の立案（動物実験計画書、書式1）、審査、手続きを経、適正に実施される体制になっている。動物実験の終了時には実験結果報告書（書式2）と動物実験終了・中止報告書（書式8）の提出が定められており、適正と判断できる。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 4) 実験施設の設置状況

#### [現状と点検・評価]

実験動物の飼養と動物実験が実施された1号館の実験室、16号館の実験室、18号館の実験室、21号館の実験室、22号館の実験室、1号館動物施設、16号館動物施設、21号館動物施設、22号館動物施設、生命科学研究センター内実験室及び動物施設はいずれも城西大学動物実験規程第10章第37条から第42条に従って設置管理され、城西大学全学動物実験管理委員会の承認を得たもので、動物実験に適切な施設であると判断できる（実験室設置承認申請書 書式5）。また実験動物の飼育・管理に関しては同規程第11章第43条から第51条に適合する施設が設置されている（飼養保管施設設置承認申請書 書式4）。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 5) 安全管理状況

#### [現状と点検・評価]

動物実験を実施する学部学生、大学院生及び教職員は、全学動物実験管理委員会、動物実験管理委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが主催する「動

物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」に参加することが義務付けられており、安全管理体制は整備されている（実験動物施設利用の手引、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン、実験動物の感染症－その影響と対策－、実験動物逸走防止及び逸走時の対応マニュアル、緊急時の対応マニュアル）。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

## II 実施状況

### 1) 動物実験委員会

[現状と点検・評価]

「城西大学動物実験規程」に基づき、委員会活動が実施されており、基本指針に適合し、適正に機能していると判断できる。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 2) 動物実験の実施状況

[現状と点検・評価]

2021（令和3）年度は106件の動物実験計画書が提出され、外部委員2名を含む動物実験委員会（7名）で本学の動物実験規程に照らして審査した結果、すべての動物実験計画が許可された。動物実験委員会による動物実験計画書の審査は、厳正・適正に実施されたと判断できる。

2021（令和3）年度「動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、全学動物実験管理委員会、動物実験管理委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが合同で作成したビデオ教材をMS Teamsを用いてWeb配信した。動物実験を実施するすべての学部学生、大学院生及び教職員は、講習用のビデオ教材を視聴することによって、教育訓練が実施された（総計498名受講）。その結果、動物実験の実施状況は良好であった。

2021（令和3）年度に実施された動物実験に関する動物実験計画書（書式1）、動物実験結果報告書（書式2）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）、動物実験終了・中止報告書（書式8）（延べ106件）を精査した（2022年6月17日）結果を別表にまとめて示した。別表の申請数とは最初の動物実験計画書の申請数であり、使用数は動物実験終了・中止報告書の使用数である。

2021（令和3）年度の実験動物使用匹数は以下の通りである。

・ラット	3117 頭
・マウス	4729 頭
・両棲類	290 匹
・魚類	370 匹
合計	8506 頭

全ての動物実験において所定の書式が提出され、承認されている。また、申請数と使用数の間に当初の計画と大きな違いがあるものについては、動物実験計画（変更・追加）承認申請書が提出され、承認されている。

2021（令和3）年度における動物実験に基づく研究成果は学会における発表20報、誌上発表6

報が公表された。学会発表の件数はコロナ禍の影響も緩和しており、2020（令和2）年度に比べて増加した。また、動物実験報告書をみると論文執筆中、投稿準備中としているものも多く、誌上発表を意識していることが判断できる。くわえて、多くの研究成果が卒業研究論文、修士研究論文等にまとめられている。

2021（令和3）年度において、実験計画書106件中10件が中止、また、実験計画の実施時期を先送りすること（研究の継続）による実験動物使用数が「0頭」に変更された実験計画も26件あった。これらを合わせると36件になった。2021（令和3）年度に実験に使用された実験動物の総数8506頭は、2020（令和2）年度の4865頭に比べて著しく増加した。これは、2020（令和2）年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、緊急事態宣言の発令、三密の回避による研究室の使用人員の制限など、教育研究活動に大きな制限が設けられたことに起因する実験動物使用数の減少ではあったが、2021（令和3）年度は、ワクチン接種が進むなど感染症対策が進んだことにより、研究の進展や着手の状況が以前の状態へと徐々に戻って来ていることが考えられた。

#### [改善方策]

実施された動物実験は適切であったと評価できる。研究成果の公表については、今後、さらに誌上発表数の増加が望まれる。

新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息し、安心・安全な教育研究環境が戻り、活発に研究活動が実施されることを願っている。

### 3) 実験動物の飼育保管環境

#### [現状と点検・評価]

実験動物の飼育・管理に関しては城西大学動物実験規程第11章第43条から第51条に従って適正に実施された。東日本大震災の教訓から、動物飼育施設において、特に遺伝子改変動物の飼育に関しては、厳重な飼育場所と同時にネズミ返し等の防御策がとられている。

飼養施設における実験動物への感染症予防のために、1号館動物施設、16号館動物施設、21号館動物施設、22号館動物施設、生命科学研究センター内実験室及び動物施設は、定期消毒が実施されている。また、他の実験室や飼育室も適切に管理・清掃されている。

#### [改善方策]

地震などによるケージの落下を想定し動物が逸走しないよう、引き続き飼育環境の整備に努める。

### 4) 教育訓練の実施状況

#### [現状と点検・評価]

2021（令和3）年度 動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会は、動物実験に関わる全ての教員、大学院生、学部学生、研究生を対象として、新型コロナウイルス感染症防止対策のために、全学動物実験管理委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、2021年度「動物実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」の動画を録画し、利用する研究室ごとにビデオを配信し、視聴してもらうこととした。申請書等は、視聴したことを踏まえて、提出してもらった。（コロナウイルス感染対策のため）。教育訓練は、2021年6月～2021年9月の期間で、適正に実施された（総計498名受講）。

また、犠牲動物に対する「実験動物慰霊式」は、2022年3月9日10:00～16:00に10号館1階

102 教室を会場として、新型コロナウイルス感染症対策の観点から個人参拝の形式として開催された（総計 224 名参加）。2020（令和 2）年度の「実験動物慰霊式」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止されたが、今年度は三密を回避しながら実施されたことは評価できる。

[改善方策]

2022（令和 4）年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策が取られている状況下にある。様々な工夫により、適切に動物実験が実施されることが望まれる。

5) 自己点検・評価、情報公開

[現状と点検・評価]

城西大学動物管理自己点検評価委員会による、2021（令和 3）年度の動物実験管理に関する自己点検評価は、全ての動物実験結果報告書が提出され、各委員会の報告書も提出されており、ここに同報告書を作成することができた。

情報公開については、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じて、1) 全学動物管理委員会等の名簿、2) 2020（令和 2）年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書、3) 動物実験に関する届出・計画書式が公開されている。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

以上

2021(令和3)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物申請数、使用数									研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果					
動物種 承認番号	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 "0"のもの
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 21001	80	80									論文投稿予定	○					
JU 21002	325	115								1	論文			▽			
JU 21003	50	130									論文投稿中					△	
JU 21004	155	155	15	85							学術論文及び学会等で発表予定				△		
JU 21005	116	200								1	論文				△		
JU 21006			54	131					1		学術論文投稿中及び学会発表				△		
JU 21007			54	150					1		学術論文投稿中及び学会発表					△	
JU 21008	186	120									学会発表予定						
JU 21009	54	54							1		学会発表、2021年度博士論文	○					
JU 21010	238	238							1		学会発表、2021年度博士論文、 2021年度卒業論文	○					
JU 21011	68	57									2021年度卒業論文				▽		
JU 21012	36	36											○				
JU 21013	56	56										○					
JU 21014	30	30										○					
JU 21015	32	32											○				
JU 21016	32	32											○				
JU 21017	32	32											○				
JU 21018			80	80								○					
JU 21019			80	80								○					
JU 21020			60	60								○					
JU 21021	210	258							1		学会発表				△		
JU 21022	30	0	210	258					1		学会発表				△▽		
JU 21023	30	0													▽		1
JU 21024	80	17							1		学会発表				▽		
JU 21025	30	44	10	0					1		学会発表				△▽		1
JU 21026	24	24										○					
JU 21027	18	14	18	0					1		学会発表				▽		1
JU 21028	18	0													▽		1
JU 21029	18	0													▽		1
JU 21030	18	0													▽		1
JU 21031	4	0									薬学実習C				▽		1
JU 21032	4	4									選択科目「薬毒物分析」	○					
JU 21033	121	121	616	616	56	56					薬学科 薬学実習E	○					
JU 21034			60	0							「研究機関等体験事業」城西大 学薬学部で学ぶ「生命と薬」お よび薬学部一日体験科学教室				▽		1
JU 21035	96	96	96	96					3	1	論文、学会発表	○					
JU 21036			120	5											▽		

JU 21037	72	72	108	0				1	学会発表			▽			1
JU 21038	6	6							科研費「ひらめき・ときめきサイエンス」城西大学薬学部で学ぶ「生命と薬」、薬学部一日体験科学教室	○					
JU 21039	50	0							ヘアレスラットの系統維持				▽	1	
JU 21040	80	80							2021年度卒業研究	○					
JU 21041	90	75							2021年度卒業研究			▽			
JU 21042	130	0											▽	1	1
JU 21043	120	0											▽	1	1
JU 21044	120	0											▽	1	1
JU 21045	72	0											▽	1	1
JU 21046			120	120						○					
JU 21047			80	38					学会発表予定			▽			
JU 21048			120	0									▽	1	1
JU 21049	90	0											▽	1	1
JU 21050	66	0											▽	1	1
JU 21051	30	0											▽	1	1
JU 21052	100	70	270	175					解剖生理学実験B				▽		
JU 21053	30	0	50	44									▽		1
JU 21054			60	0									▽		1
JU 21055			64	64						○					
JU 21056			36	72								△			
JU 21057			184	0								▽			1
JU 21058	60	26					1		学会発表			▽			
JU 21059	60	20					1		学会発表			▽			
JU 21060	60	60					1		学会発表	○					
JU 21061			20	20					投稿準備中	○					
JU 21062			328	157					投稿準備中			▽			
JU 21063			336	252								▽			
JU 21064			60	30					実験動物(ノックアウトマウス)の系統維持・繁殖			▽			
JU 21065			288	156					卒業実験研究			▽			
JU 21066			60	40					実験動物(ノックアウトマウス)の系統維持・繁殖			▽			
JU 21067	226	226							学会発表予定	○					
JU 21068			20	20					学会発表予定		○				
JU 21069			30	30					学会発表予定	○					
JU 21070			30	30					学会発表予定	○					
JU 21071	30	30							学会発表予定		○				
JU 21072			30	30					学会発表予定		○				
JU 21073	70	66							薬科学実験B ラットの解剖	▽					
JU 21074			64	64					学会発表予定	○					
JU 21075	12	13	3	0								△▽			1



JU 21076			200	200					2	学会発表	○					
JU 21077	20	0	960	896						学会発表予定		▽				
JU 21078	260	108								薬学実習A(解剖生理 ラットの解剖)		▽				
JU 21079			288	74						投稿準備中		▽				
JU 21080			144	67						投稿準備中		▽				
JU 21081			144	77					1	論文		▽				
JU 21082			6	0								▽				1
JU 21083			130	83						2021年度卒業論文		▽				
JU 21084	75	75								2021年度修士論文	○					
JU 21085	40	40								2021年度修士論文		○				
JU 21086	72	87	72	99						学会発表予定		△				
JU 21087	48	4							1	論文		▽				
JU 21088	30	30									○					
JU 21089	48	48	60	60						解剖生理学実験A(病態モデル動物の観察-脂肪肝病態マウス、胃潰瘍病態ラット、大腸炎病態マウス)		○				
JU 21090	72	0											▽		1	1
JU 21091			820	0								▽				1
JU 21092			50	0								▽				1
JU 21093			60	50						栄養学実験	▽					
JU 21094						220	220			投稿準備中	○					
JU 21095						150	150		1	学会発表	○					
JU 21096			12	19								△				
JU 21097			10	0								▽				1
JU 21098					209	209					○					
JU 21099					25	25					○					
JU 21100			10	3								▽				
JU 21101			6	4								▽				
JU 21102	160	36							1	学会発表		▽				
JU 21103			104	104						1	論文	○				
JU 21104			45	30						学会発表予定		▽				
JU 21105			60	60						学会発表予定	○					
JU 21106			50	0												
計	4590	3117	7065	4729	290	290	370	370	20	6					10	26

\* 「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。

動物実験申請総数:106件 中止件数:10件 総使用動物数:8506頭 学会発表数:20件 誌上発表:6報

## 2021年度 動物実験委員会活動報告書

委員会メンバー：荻原政彦（委員長）、小林順（副委員長）、北川浩子、清水純、木村光利  
鈴木研太（外部委員）、主山しのぶ（外部委員）、  
三橋秀行（事務局）、玉井彩子（事務局）、星野（事務長）

### 1 2021年度の動物実験委員会活動計画

- 1) 2021年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼

### 2 2021年度の動物実験委員会活動報告

(1) 外部委員出席の下で、飼養保管施設・動物実験施設設置承認および定期的な動物実験実施計画書の審査を実施した。

- 1) 日時：2021年4月13日、13時30分～15時10分、於：清光会館1階第1会議室  
・実験施設設置承認許可（新規・変更・廃止等）申請書（新規：受付番号 R03001～03003 3件、変更：承認番号 08017, LH28001, 24005, 27003, 29013, 29014, 30002 7件、廃止：承認番号 LH24003 1件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全ての施設に関し承認された。

- ・実験計画申請書類数 102件（受付番号 03001～03102）（内新規動物実験実施計画書 25件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を、新規の C と D を中心に審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。

計画書の内訳ランク A 0件、B 19件、C 20件、D 63件

- 2) 日時：2021年10月12日、15時30分～16時20分、於：清光会館1階第1会議室  
・実験施設設置承認許可（変更）申請書（変更：承認番号 08903, F2901, F3101 3件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全ての施設に関し承認された。

- ・動物実験計画書に関し、変更届（承認番号 JU21003, 21005, 21007, 21022, 21086 5件）、および新規申請書（受付番号 03103～03106 4件）が提出され、本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

新規申請書内訳ランク B 1件、C 0件、D 3件

(2) 動物実験管理委員会から提出された2020年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。

- 1) 日時：2021年4月13日、13時30分～15時10分、於：清光会館1階第1会議室  
実施報告書 107件（承認番号 JU20001～JU20107）（107件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

### 3 2021年度の動物実験委員会活動の自己評価

報告書の提出・審議状況より、年度当初の活動計画1)～5)を適正に実行できたものと考えられる。

#### 4 その他

1) 動物愛護法の改正と自己点検評価に伴い、苦痛度表を改正し、実験動物施設と計画書に関わる様式のダウンロード化及び様式等の変更を実施した。

大学情報公開に伴い、実験動物施設関連の様式等の学内専用ダウンロード化を整備。

<https://www.josai.ac.jp/about/facility/jikken/animalexam/index.html>

以上

2022年4月5日(火)木村 光利 (委員長)

2021 年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	委員長 田中享、副委員長 須永、岡崎、河合、大島（新）、菊地、岩田、森田、望月（JAC）、小川（JAC）（2021 まで）
会議回数	5 回（メール会議 4 回含） 議事録は報告書の下に添付
年度初めの計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育・訓練の実施 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同 Web 動画配信</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出および加筆訂正</li> <li>3. 2021 年度動物実験結果報告書の作成依頼および加筆訂正</li> <li>4. 2022 年度動物実験計画書等の作成依頼</li> <li>5. 動物慰霊式の開催 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同</li> <li>6. 2021 年度動物実験結果報告書、2022 年度動物実験計画書等の提出 → 全学動物実験管理委員会へ</li> <li>7. 以下の項目を適宜、指導、実施する。</li> </ol>
実施状況結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学動物実験管理委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、2021 年度「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」の動画を録画し、利用する研究室ごとにビデオを配信し、視聴してもらうこととした。申請書等は、視聴したことを踏まえて、提出してもらった。（コロナウイルス感染対策のため）。</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出を依頼し（7 月）、加筆訂正後、全学動物実験委員会に提出した（9 月）。</li> <li>3. 2021 年度動物実験結果報告書の作成を依頼し（2022 年 1 月）、加筆訂正した（2022 年 3 月）。</li> <li>4. 2022 年度動物実験計画書等の作成を依頼し（2022 年 1 月）、加筆訂正した（2022 年 3 月）。</li> <li>5. 全学動物実験管理委員会から依頼のあった動物慰霊式は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、個人参拝の形式として実施した。 日時：2022 年 3 月 9 日 9：30～16：30 場所：10 号館 1 階 102 教室</li> <li>6. 2021 年度動物実験結果報告書、2022 年度動物実験計画書等を全学動物実験管理委員会へ提出した（2022 年 3 月）。</li> <li>7. その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 次年度の動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の開催日時を協議した。コロナウイルス感染のリスクが高いため、2021 年度同様 Web 動画配信にて視聴してもらい申請書等を提出してもらう。</li> <li>2) 薬学部動物施設および生命科学研究センターの 2022 年度の飼養に関して点検し、各施設から飼養報告書が提出された（別紙添付）。</li> </ol> </li> </ol>

活動の 評価	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 概ね滞りなく行った。</li><li>2. 「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」Web 動画配信にて実施し、受講者は 498 名であった。</li></ol>
-----------	--

2021年度 第1回 動物実験管理委員会 議事録

2021年5月8日(土)

メール会議

出席者：夏目、岡崎、田中、須永、森田、大島、菊地、岩田、河合、玉井（実験センター事務）（敬称略、順不同）

議題

審議事項

- ・2020年度動物実験管理委員会活動報告案について

前委員長、2021年～委員長から2020年度動物実験管理委員会活動報告案が提出された。

5月12日(水)迄に加筆・訂正無し

承認

以上

文責 田中

2021年度 第2回 動物実験管理委員会 議事録

2021年12月22日(水)

メール会議

出席者：岡崎、田中、須永、森田、大島、菊地、岩田、河合、玉井（実験センター事務）（敬称略、順不同）

議題

審議事項

- ・2021年度動物慰霊式開催について

2020年度に引き続き記帳のみの形式にて開催について提案された。

承認

開催場所については10-102教室にて掲示物、祭壇、記帳台にて、講義室の空き状況にて3月上旬予定

以上

文責 田中

2021年度 第3回 動物実験管理委員会 議事録

2021年9月10日(木)

メール会議

出席者：田中、須永、森田、岡崎、河合、大島、菊地、岩田（敬称略、順不同）

議題

審議事項

- 1) 9月提出された動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等のチェック、判断  
提出された部数が少なかったため、委員長に一任され、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出することとした。
- 2) 9月提出された動物実験計画書（書式1）の記載内容等のチェック、判断  
提出された部数が少なかったため、委員長に一任され、動物実験計画書（書式1）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出した。

承認

以上  
文責 田中



2022年3月9日(水)

薬学部会議室

出席者：田中、須永、森田、大島、菊地、岩田、河合（敬称略、順不同）

## 議題

### 審議事項

- 1) 提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出することとした。

- 2) 動物実験計画書（書式1）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験計画書（書式1）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出した。

承認

以上

文責 田中

2021年度 第5回 動物実験管理委員会 議事録

2022年3月25日(金)

メール会議室

出席者：田中、須永、森田、大島、菊地、岩田、河合（敬称略、順不同）

議題

審議事項

1) 2022年度動物実験教育・訓練および施設利用説明・講習会について

新型コロナウイルス感染を鑑み、2021年度に引き続き生命研、薬学部動物管理委員会合同 Web 動画配信にて行う。

承認

以上

文責 田中

2021年度委員会報告

委員会名	動物実験広報委員会
委員	委員長 上田秀雄 副委員長 片倉賢紀 委員 加園恵三、工藤なをみ、伊東順太
会議回数	1回 (2021年度活動報告について)
年度始めの計画	城西大学全学動物実験管理委員会の活動をホームページ等により広報する。
実施状況と結果	実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上の動物実験計画書・届け出書式、施設利用申請書等の更新作業を行った。</li> <li>・全学動物実験管理委員会活動内容をホームページに掲載した。</li> <li>・2020年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書をホームページに掲載した。</li> </ul>
自己評価	2020年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書を公開し、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じた情報公開ができたと考えられる。種々フォーマットの更新に伴うホームページの更新も速やかに行われ、妥当な活動が行われたと評価できる。

2021（令和3）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 和田政裕 委員 一色恭徳 内田昌希 中谷祥恵 五十嵐庸
会議回数	1回（メール会議）
実施状況と結果	各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価についてメール会議を行った。 全学動物実験管理委員会委員長からの指示により、2021（令和3）年度 城西大学動物実験自己点検・評価報告書を学長へ提出した。
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は、予定通りにおこなうことができた。

2022（令和4）年度 第1回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 和田 一色 内田 中谷 五十嵐

期 間 2022（令和4）年6月11日～2022（令和4）年6月16日

議案

1. 2021（令和3）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について  
2020（令和2）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない、原案通り承認された。

以上

2022年 5月 26日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	16号館動物室
2 管理者氏名	菊地 秀与
3 実験動物管理者氏名	菊地 秀与
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・モニタリング検査も記入	空調機器保守等の実施[7月27日(火)]
5 消毒作業	7月28日(木)より2日間
6 設備の設置・修繕	マウス用 IVC ラックの排気装置の不具合に対し修理を実施[11月15日(月)]
7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際して生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	新型コロナウイルス感染症防止下ではあるものの、利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行っていききたい。

2022年 5月 26日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	21号館動物室
2 管理者氏名	21号館:八巻 努
3 実験動物管理者氏名	菊地 秀与
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	特になし
5 消毒作業	21号館:7月14日(水)より3日間
6 設備の設置・修繕	特になし
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	新型コロナウイルス感染症防止下ではあるものの、利用者の適 正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持され た。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、利用 者のマナー向上にむけた注意喚起等を行っていききたい。

2022年 5月 26日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	22号館実習用動物保管庫、
2 管理者氏名	一色 恭徳
3 実験動物管理者氏名	菊地 秀与
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・モニタリング検査も記入	空調機器保守等の実施[7月27日(火)、12月3日(金)]
5 消毒作業	7月20日(火)より2日間
6 設備の設置・修繕	ワイヤレスデータロガー、温湿度計
7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際して生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	新型コロナウイルス感染症防止下ではあるものの、利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行っていきたい。



2022年 5月 11日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	理学部動物室
2 管理者氏名	尾崎 裕
3 実験動物管理者氏名	森田 勇人
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・モニタリング検査も記入	給排気及び空調フィルターの交換を月1回行った。2020年度メンテナンス(活性炭フィルター交換)を2021年1月21日に実施した。活性炭フィルター交換の目安が1年間で次回交換は2021年末頃となり、新棟移転の数カ月前でもある為、製造元によるフィルターの状態を目視及び簡易検査から判断し、交換はせず、2カ月有効期間を延長として運用した。
5 消毒作業	2020年度室内消毒作業を2021年1月21日に実施した。室内消毒作業の目安が1年間で次回消毒は2021年末頃となり、新棟移転の数カ月前でもある為、上記に示したようにフィルターの検査等を行い、又加湿器修繕時に室内簡易消毒を行ったことから、2カ月有効期間を延長として運用した。
6 設備の設置・修繕	加湿器の水に水道水を使っていたため、加湿器から白い粉が出るようになったが、加湿器の洗浄を行うことで改善された。
7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際して生じた問題等	問題はなかった。
9 自己評価・報告等	利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用していた。また、動物運搬では配布された収納バックにより運搬していた。

2022年 5月 24日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	生命科学研究センター
2 管理者氏名	岡崎 真理
3 実験動物管理者氏名	木村 光利
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	[環境検査] (原則年 3 回実施) 6月 9日 異常なし 10月 13日 異常なし 2月 3日 異常なし [SPF ヘアレスラットモニタリング検査] (原則年 3 回実施) 5月 31日 異常なし 10月 5日 異常なし 2月 7日 異常なし [保守点検] 2月 16日 オートクレーブ (大型・小型) 装置部品交換
5 消毒作業	6月 28日～7月 7日実施
6 設備の設置・修繕	[修 繕] 4月 9日 4階実験室 1・2 常備灯設置 5月 6日 4階飼料保管庫 低温室故障修理 5月 19日 4,5階自動水栓交換 6月 17日 4階飼料保管庫 冷蔵装置工事 7月 13日 4階実験室 シンク排水管修理、5階実験室 SPF エリア・感染エリア 常備灯設置 12月 10日 5階洗浄室のシンクの排水修理 12月 14日 4階飼育室エリア廊下の天井の点検口の金属枠 外れの修理 12月 17日 SPF エリア・コンベエリアの作業台修理 2月 9日 4階5階の階段踊り場の壁の中木が剥がれ修理 依頼 3月 25日 空調機点検

	<p>[整 備]</p> <p>6月 7日 飼育室5 暗箱4台設置</p> <p>11月 26日 衣類乾燥機 搬入</p> <p>12月 17日 4階飼育室4(406室)旧式ウサギラックの撤去</p>
7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p><input type="checkbox"/>有 ※下記に内容を記入</p>
8 その他、飼養保管に際して生じた問題等	<p>特になし</p>
9 自己評価・報告等	<p>2021年度生命科学研究センターにおける実験動物の飼養につきましては、年間を通し、概ね良好な飼育環境を維持することができました。</p> <p>昨年に引き続き「生命科学研究センター利用の際の新型コロナウイルス感染症対策」を遵守し施設の運営を図りました。</p>